

基礎のひび割れは、 家の寿命を低下させます。



ひび割れ補修は、国土交通省にも採用されているエポキシ樹脂注入が効果的です。

ひび割れ補修は なぜ必要か？

鉄筋コンクリートは、外部環境（雨水や炭酸ガス等）の影響を受けて、コンクリートのアルカリ性が次第に失われていきます。（中性化現象）ひび割れが無い場合は、数十年かけてゆっくり中性化するのですが、ひび割れがあると、内部鉄筋への直接的な影響により、錆の発生が早まる原因となりますので、エポキシ樹脂による補修が必要となります。

●ひび割れ補修が必要な状態



ひび割れを 放置すると…

ひび割れを放置しておくと、鉄筋が錆び、さらに進行すると錆が膨大して、やがて周囲のコンクリートが剥がれ落ちてしまいます。この現象を爆裂（ばくれつ）と言い、爆裂が起きたら周囲のコンクリートをハツリ、鉄筋の錆を取り除くなど鉄筋の修繕をおこない、エポキシ樹脂モルタルで埋め戻すという補修工事が必要となります。

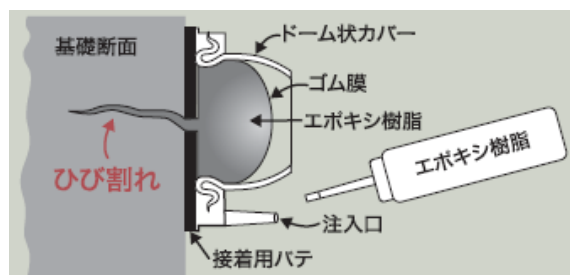
●爆裂の実例



横向の鉄筋が錆びて膨張し、爆裂によりコンクリートが剥離、剥落した状態。

ひび割れは エポキシ樹脂 注入で補修

ゴム膜と固定枠からなる注入治具（注入ドーム）を用い、そのゴム膜の復元力を利用して、低圧で自動的にひび割れ深くエポキシ樹脂を注入することが出来ます。国土交通省の仕様書にも採用されている安心の自動式低圧樹脂注入工法です。



ひび割れ発見



注入ドーム設置



エポキシ樹脂を注入

お問い合わせは



有限会社

別子消毒

フリーダイヤル

0120-23-7941